

# 展覧会タイトル

## 夜の散歩

静かな夜

周りのものが視界に入りづらい時間

同じ道、同じ場所を歩く

周りの静けさにも欲望にも正直な自分の反応を

そのまま画面に記憶していく

## 展覧会主旨

これまで描き溜めたものから、自分が感じたことや、行ってみたい架空の場所、想像する理想の世界、これから始まる未来世界の想像、他者から受けたイメージの具現化、マンガの設定資料などを展示します。

## アーティスト・ステートメント

世界との繋がりを作品を通して感じてもらえるように描いています。

外界の情報を受けたときにそれを自分のフィルターを通してアウトプットしています。

例えば、ルールを守らない（マナー違反）人を見たときに怒りがわく。その怒りを原動力に風刺画を描いたりしています。

私が描く鉛筆画の世界は、一見暗くみえる世界ですが、自分で創造できる世界。

理想郷を求めて描いています。

小さな頃、身近な人に絵を褒められた事が嬉しかった。実家の屋根裏にあった風景画が記憶の断片として残っている。小学生の頃、恩師と別れる際にタンポポの花の鉛筆画をもらった。今も絵を描いているのは、その様な記憶、北海道の自然の中で育った時の記憶の影響は大きい。

自分が楽しいと思うものを描きたい。それをみて楽しんでもらえたらありがたい。